

ケーブル技術ショー2012 **注目展示ブース** 「これだけは見逃せない」最新製品・システム

メディアキャスト

ハートネットワークがデータ放送を刷新 スマホ連携による新サービス展開も!

問い合わせ先

(株)メディアキャスト 営業企画部
TEL: 03-6892-3211
FAX: 03-6892-3212
E-mail: info@mcast.co.jp
http://www.mcast.co.jp/

愛媛県新居浜市の(株)ハートネットワークは、今春からデータ放送の全面リニューアルと共にGUIを大幅に改良、データ放送とスマホを連動させる新サービス展開も準備中だ。地域情報を最大の武器とするケーブルが、データ放送の注目度を向上させ使用頻度を高めると共に、外出時でも同様なサービスが利用できるというケーブルだけが成し得るマルチスクリーン戦略を図る試みだ。この取組みに関して、ハートネットワーク 代表取締役 大橋弘明氏と、システムや技術面を担当したメディアキャストの河野篤彦氏に、これらの展開について話を伺った。

- 展示会 (東京ドームシティ プリズムホール)
小間NO: 25
- セミナー
開催しません。

コミチャン画面に データ放送のアイコン

多くのケーブルでデータ放送が実施されてきたなか、最大の課題は視聴者の利用率が多くないことだ。その理由はdボタン操作に慣れていないことや、データ放送の存在自体も知らない視聴者も少なくない。今までASPによるデータ放送を実施してきたハートネットワークでは、これら課題を解決するために、メディアキャスト製のデータ放送送出装置「DataCaster M3 (データキャスター エムスリー)」を導入し、アイコンを使ったGUI改良と共に、独自コンテンツの充実を図った。

この取組みにより、ハートネットワークのデータ放送のGUIは他に類を見ないものに生まれ変わった。まず、コミチャンにチャンネルを合わせるだけで、自動的に画面にデータ放送の各コーナーアイコンが表示され、そのアイコンもスマホのアプリアイコン風にデザインされている。視聴者はdボタンを押す必要もなく、自分が必須としている情報コーナーのアイコンを押すだけで直接そのコーナーへ遷移できる訳だ。

「データ放送の利用率を高めるためのポイントはGUIです。従来のL字型表示は視聴者に『うっとうしい』と消されてしまうこともあります。そこで考えたのが今回のGUIです。スマホのアプリのようなデザインアイコンならば邪魔にならないし、一目見てどのようなコーナーかわかるというのも優れています。アイコンのデザインでは、開いてみたくなるような「気になるデザイン」に注力しました」(大橋社長)



大橋弘明
(株)ハートネットワーク 代表取締役

データ放送の注目度が向上 「アイコンは新しいメディアだ」

「アイコンはコミチャン画面に重ねて表示されますが、邪魔にならないように工夫しています。アイコンを画面の左端に縦に並べ、コミチャンの番組映像に重なってはいますが、画面の端なので邪魔になりません。さらに、オーバーレイで表示させたアイコンを上から下にゆっくり移動するようにしました。アイコンがゆっくり動いていくと、視聴者の興味を引きます。また、データ放送のコーナー数だけアイコンがあり、一度に表示すると画面を埋めつくしてしまうため、アイコンが次々に流れていくようにすれば、コミチャン番組の邪魔にならない小さなスペースにたくさんのアイコンを順番に表示させることもできます。コミチャンの画面にアイコンが並んでいることに対する視聴者からの苦情は今のところなく、逆にデータ放送の内容に対する問い合わせが増えました」(大橋社長)

データ放送コンテンツに関する問い合わせの増加は、データ放送の注目度が上がったことを示している。これは、視聴者が急速に普及しつつあるスマホやタブレット端末の操作に慣れてきたことも大きく影響していると思われ、今後さらにスマホが普及することにより、このようなGUIによる効果が増すであろう。

ハートネットワークでは、アイコンによるGUIだけでなく各コーナーコンテンツの見せ方についても工夫を凝らしている。

「アイコンから直接遷移できる主なコーナーは、ごみ収集カレンダー、休日・夜間診療の当番医情報、防犯情報、イベント情報などです。防犯情報は市のメルマガの内容を自動表示しており、視聴者は市のメーリングリストに登録しなくてもデータ放送で防犯情報を知ることができます。また、視聴者にとって日頃からコミチャン画面が便利ツールとして位置付けさせるために、画面の右上には時刻と天気情報を自動表示させています。イベント情報では、新しい情報が更新されると女の子のキャラクターが画面上へ自動的に登場して新しい情報があることを知らせます。画面の下部には、火災情報や緊急情報が配信されると自動的に情報が表示される窓が現れ視聴者に知らせます。ここに表示される自治体からの情報に関しては、新居浜市、ハートネットワーク様、メディアキャストの担当者が何度も話し合っ必要情報を厳選しました」(メディアキャスト 河野篤彦氏)

今回のGUI改良には、ハートネットワークのさまざまな要望に対して忠実に実現するためのデータ放送に関するシステムや技術力、そしてケーブルにおける多くの実績やノウハウを持つ

メディアキャストの存在が大きいうだ。

このようなオーバーレイ技術を随所に応用することで、ケーブルデータ放送の認知度が高まり、地域テレビポータルの地位を確立させることにつながり、ケーブルの新たなビジネス展開への可能性を秘めている。

「今回のGUI改良により、データ放送が以前よりよく利用されるようになりました。今後は視聴者ニーズなども積極的に取り入れ、さらなる改良を加えていこうと思っています。また、今回の取組みによりアイコンによる表示はケーブルテレビの新しいメディアになることも確信しました。視聴者に見ていただきたい情報アイコンを高頻度で画面に表示させることもできることから、アイコンの広告料をいただくビジネスモデルも可能性もあり、データ放送による今までにない新しい広告主を開拓することもできるのです」(大橋社長)

スマホやタブレットに配信 GPSを広告や災害時に利用

ハートネットワークでは現在、データ放送と、スマートフォンやタブレット端末 (iPhone、Android端末、ほか) を連携させた新たなマルチスクリーンサービスを準備中だ。メディアキャストが新開発したDataCaster M3用のオプションプラグインにより、データ放送用に収集された地域情報をスマホへも配信することができ、さらにはメディアキャストが独自開発したケーブル事業者向けの専用地域情報アプリは、さまざまな連携機能を搭載している。ケーブルがデータ放送のために集めてきた地域情報は、実はケーブルにとっては最大の宝物であり、この宝物を最大限に活用するというのである。

このサービスが実現すると、ケーブルへ加入している視聴者は、宅内のテレビ (データ放送) だけでなく、宅外へも地域情報を持ち歩くことが可能となり、外出時に地域情報を知りたい場合に、ネット検索することなく当アプリを起動することでデータ放送と同等の情報を得ることが可能になるわけだ。また、災害時にも強さを発揮する。大震災などで電話やインターネットが遮断した時でも、あらかじめ地域情報アプリに避難場所や災害時の心得などの情報が収録されているため、スマホやタブレット端末でそれらの情報を見ることができる。災害時の混乱のなかで市の広報紙など紙媒体を探すのは困難だろう。その時に日頃から見慣れたデータ放送による情報を、日常的に使用している端末ですぐに見つけることができるのだ。

「地域情報アプリはスマホのGPS機能を利用できるため、Google Mapと連動させてユーザーの現在位置から指定した場所までの経路を地図に表示するナビ機能を提供できます。この機能は災害時に視聴者の現在位置から近く

図1 ● 視聴者が操作を行わなくてもデータ放送のアイコンが自動表示 (ハートネットワークのコミチャン画面のGUI)

チャンネルをつけると自動的に情報アイコンが表示されゆっくりと動く

時間帯により時刻と天気情報を表示

情報をアイコンで意識付けてスマホ展開の布石へ!



イベント情報は女の子キャラが自動的に登場!

火災情報が発せられると自動的に表示 (新居浜市のメール連動)

図2 ● データ放送向けコンテンツをスマホアプリで展開

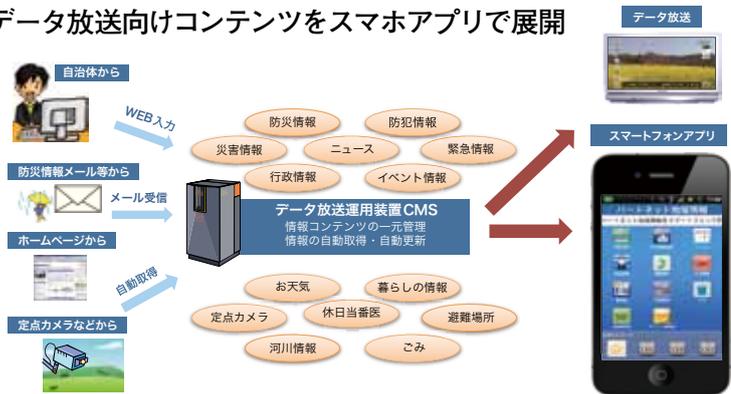


図3 ● 指定場所へのナビ機能 (Google Mapと連動)



※現在地をGPS機能で取得して登録場所までの徒歩でのルートを表示します。

の避難場所への経路や、広告主の店舗への経路を示すといった活用ができます」(メディアキャスト 河野篤彦氏)

つまり、このサービスはケーブルにとって契約率向上や解約防止の効果だけでなく、広告媒体としての価値も高められ、さらにはWiMAXやWiFi関連事業へ拍車をかけることも可能なのだ。

放送と通信の融合に始まり、マルチスクリーン、スマート端末など、さまざまな動向や情報が飛び交うなかで、地域情報を核としたケーブルにとって具体的な戦略の大部分が今回のハ

ートネットワークの取組みにあるのかもしれない。大橋社長はこう語る。

「ケーブルが提供するサービス進化形としてこの新サービスに期待しています。データ放送の地域コンテンツを最大限活用し、データ放送だけでなくスマホやタブレット端末など、色々なメディアを使って提供することが地域基幹メディアの役割と言えます。今後、スマホのアプリは位置情報やARと連携してさらに進化していきます。ハートネットワークはその進化していく技術や機能をフルに活用して、ケーブルならではの地域サービスを展開していきます」